

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年1月30日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671400143
法人名	社会福祉法人 長和会
事業所名	恵光園グループホーム さくらの里
所在地	鹿児島県垂水市本城217番地 (電話) 0994 (32) 1881
自己評価作成日	平成29年10月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年12月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

のどかな田園風景の広がる河川沿いに位置する当事業所は母体施設周辺の桜並木に囲まれこれまでは桜の名所として地域住民に親しまれていた。昨年平成28年9月、台風において河川氾濫のため床上浸水の被害にあい、利用者様の安全を最優先との考えから多くの桜の樹木は伐採された。しかし残された事業所前の桜は今年も見事な花を咲かせ利用者様をはじめ、地域の方にもひと時の安らぎを与えてくれている。同敷地内にある母体の特別養護老人ホームとは年間の様々な行事を通じて交流を深めている。また地域密着型事業としての活動については鬼火焚き、七夕、そばうち、門松作りなどの行事や小学校、保育所、公民館の方々のご協力で利用者様と地域の方々との交流の場を多く持つことができるような取り組みを行っている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

垂水市を流れる本城川の右岸に沿った、市街地からも近い田園に囲まれた所に位置し、桜の木が広い敷地を囲むように植えられ、母体の特別養護老人ホームも同敷地内にある。特養とは多彩な行事、職員の研修会、避難訓等、相互に連携・協力体制が整い、利用者や家族の安心につながっている。玄関などにも工夫があり、気軽に入りやすい雰囲気がある。

管理者は職員とのコミュニケーションを大切にしており、職員の意見や提案は積極的に取り上げ、利用者へのより良いサービスの提供に繋げている。また、業務改善を図り、職員とともに常に利用者個々に合った支援に繋げている。利用者の食事への満足を得ていただくと共に、特養の栄養士の協力も得ながら、栄養管理にも行っている。季節の行事食や敬老会・誕生会等の特別食、日本各地の郷土料理・駅弁等の提供などを行っている。

一昨年は水害に見舞われたが、職員の機転により、怪我人を出すことなく対応されている。リビングは天井に明り取り窓があり、明るくゆったりとした雰囲気の中、利用者同士談笑したり、それぞれのペースで過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>毎月のスタッフ会の冒頭で参加者全員で運営方針・理念の唱和を行っており、共通認識を持つことで意識づけを行い実践できるようにしている</p>	<p>法人の理念を基にホームの理念、基本方針および年度目標を掲げて、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けられるように、個々の機能やリズムに沿った支援に取り組んでいる。理念は毎月のスタッフ会議で唱和し、意義の理解を深めている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>併設する特別養護老人ホームと合同開催する行事への出席依頼や地域運動会への参加、そして地域密着事業計画に沿って地域の方々との交流が図れるようにしている</p>	<p>日常的に散歩や買い物に出かける際には知人・友人と挨拶や会話を交わし、同敷地の特養、事業所の夏祭りや敬老会・運動会などに参加して頂いている。また、門松作りや菜園の手入れなどのボランティア受け入れ、そば作りなどの交流会は利用者の楽しみになっている。地域の運動会や文化祭・福祉大会などをはじめ、保育園や小学校の行事等にも積極的に参加するなど地域との交流を積極的に行っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域行事への参加や「さくらの里だより」において認知症について」の記事掲載、地域住民の方の相談などを通じて理解や支援を得られるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的開催している運営推進会議はご家族の代表者、地域住民の方、市保健課職員などに参加して頂きながら活動の報告や参加者からの提案、意見を伺える貴重な場となっている</p>	<p>会議は利用者や家族・地域住民・市役所職員等が参加して定期的開催されている。ホームや利用者の現況や活動報告のほか、防災や研修会報告、事故対応、認知症ケア検討、移転等について多くの議題が話し合われ、委員からは多くの提案や助言を頂いている。職員は内容を共有して、日々のサービス向上や業務改善に役立てている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に毎回出席していただき事業者の実状を伝え、介護保険事業所の会議や研修などにおいて交流の場や市民の方からの困難事例などの相談、報告を行っている</p>	<p>市担当者には毎回の運営推進会議に出席して頂くとともに、地域包括支援センターや福祉事務所等も各種の手続き時をはじめ、必要時に訪問して確認や相談事項等に適切に助言・対応頂くなどの連携が図られている。また、市が主催する介護事業所や介護支援専門員の研修会にも積極的に出席して情報や意見の交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人や事業所内での研修、外部研修などを通じて身体拘束に対する学びの場を持ちながら利用者様の思いや気持ちに寄り添うことのできるケアの実践をめざし取り組んでいる</p>	<p>日中は居室や玄関の施錠は行わず、職員の見守りのもとで天気の良い日は広い庭の散策などを行うことができる。言葉による拘束を始めとする身体拘束については、日々のミーティングやケアの中、また、毎月のスタッフ会で繰り返し話し合い、認識を確認している。見守りに努め、利用者が外出する時は一緒に園庭を散策するなどの対応を図っている。関連するマニュアルの整備や研修を通じて理解を深め、安全に十分配慮しながらケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者への虐待に対する研修を通じ、介護職員としての明確なビジョンをもちながら業務に当たることができるよう努めるようにしている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に対する研修を通じて理解を深め、必要な助言、制度の説明ができるようにしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時に重要事項説明書に基づいた説明を行い、書類だけではなくわかりやすい文言での説明を心掛けている。不安点や疑問点においてはその都度、正確な回答ができるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々の活動の中での利用者様からの意見や要望、面会の際の家族からの意見や要望に際しては可能な限りの対応を心掛けておりまた内容の共有はノートなどを活用するようにしている	管理者や職員は、利用者や家族が話しやすい環境づくり・工夫に努めている。利用者の思いなどは日常の会話・仕草、家族とは来訪時やホームの行事等の際に多くの意見を頂いている。内容は個人ノートや支援記録・連絡帳等で共有を図り、必要な対応は速やかに話し合い、利用者や家族に報告してケアにも具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員からの意見や提案に対してはきちんと向き合いながら対応できるように心がけている	管理者は、話しやすい雰囲気づくりに努めている。日々の申し送りや毎月のスタッフ会で職員の意見や提案を聞き取り、頻繁に声掛けを行い、事案の内容は必要に応じて代表者に報告・上申している。意見に対しては十分に話し合いを行い、業務改善やサービス向上につなげている。資格取得、研修会等への参加も積極的に支援している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフ一人ひとりが当事業所において楽しくまたいきいきと働き続けることができるように職場環境、条件を整えることができるように考えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々のスタッフのそれぞれの能力や力量を把握することで「個」の力が大きな「和」を生み出し利用者様へのより良いケアを提供できるように、研修に参加しやすい雰囲気づくりや自己研鑽に対する意欲向上に取り組んでいきたい</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>垂水市や県の研修などへの参加を通じてのネットワークや情報交換の場を設けるようにしている</p>		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居される際には原則、本人、御家族同席で面談をしている。予め顔を知って頂くことで少しでも安心につながるよう努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい雰囲気や場所の提供、また、接遇マナーに注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>聞き取りや面接だけでは、今、必要とされていることがみだしにくいこともあるのでまずは相手に信頼してもらえりような対応を心がけている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の事を考える上で共にありたいという思いは常日頃から持ちように心がけ、ケアをする側、される側という関係にならないようにしている</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者様にとって一番の心のよりどころであるご家族との関係性は重要であるためそれぞれの思いや気持ちを大切にしながらご家族と一緒に利用者様のことを考えていける関係性を築けるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会の制限をすることなく利用者様のこれまでの生活を大切にしたいと考える。入居されていても利用者様の個人としての尊厳を守っていききたい</p>	<p>入所時の聞き取り内容を利用者台帳に整理し、入所後においても注意深く観察し、今までの暮らしを把握し、可能な限り関係を継続できるよう支援に努めている。また、日頃の会話や家族来訪時にも本人が希望する買い物やドライブ・墓参り・地域の行事・催し物・等の情報を聞き取り、家族と協力しながら支援している。また、冠婚葬祭なども家族と連携し対応している。家族・知人等の来訪時にはゆっくりと過ごせるように努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>9人という人数の中でも性格やこれまでの生活パターンの違いもあることから日々の状況を注意深く観察しよりよい関係性を保ちながら共に生活する仲間としての支援方法に努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用が終了してしまうとそれまでと同じような関係性の維持はなかなか困難ではあるができるだけこれまでの経験をいかした支援やフォローに努めたいと思っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	認知症がすすんでしまうと意思の伝達自体が困難となってしまうことが多いが、これまでの関係性や経験を通じた方法で利用者様の立場にたつての支援に努めている	利用開始時の本人、家族からの情報や日常生活、関係機関との連携等からも情報を収集し、尊厳を大切に「その人らしく」の理念に添えるように意向の把握に努めている。家族とも話し合いながら、日々の申し送りや連絡帳、ケア会議等で内容を共有して対応を検討し、本人の思いを大切にしたい支援となるよう工夫を重ねている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様本人やご家族等からの関連情報によりこれまでの生活歴の把握ができるようにしている			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、共に生活している中で時間をかけて一人ひとりの個別性やできることできないこと、また、どこまでの支援が必要かの見極めができるようにし、情報の共有にも努めている			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議、スタッフ会、モニタリング、日々の会話などにおいて常に今の利用者様に目を向けられるようにし、必要時プランの変更を行っている。またご家族面会時にはケアに対する意見や希望をお伺いしプラン作成に反映させている	利用者・家族の意向確認は介護計画見直し時、状態変化時などに行い、職員からの意見も聞き取り作成している。サービス担当者会議は利用者本人も出席し、主治医や看護師・薬剤師・職員など関係者の意見も反映されたわかりやすい介護計画になるよう努めている。設定した目標や支援内容を、利用者ごとにチェックして、記録するとともに、毎月の経過状況記録・生活記録等を基に、毎月のカンファレンスやスタッフ会で話し合い、現状に即した計画になるよう修正している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各担当者による個別の生活記録はじめ、担当者が居ない日の状態が把握できるようプランに沿って個別ノートを記入する。さらに連絡帳によって各スタッフ間の情報共有を図っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	生活する場において毎日毎日目に見える変化があることは少ないがいつも一緒にいるスタッフだからこその気づきもあることから柔軟な思考での支援を心かけている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	在宅環境に直結した社会資源を活用し生活感を味わっていただけるようにと考え支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医への継続した受診を継続し、基本的に病院受診は家族にお願いしている。前回受診日からの経過や状態については書面や電話で関係医療機関との連携に努めている	本人や家族の希望に沿った利用前の主治医を継続していただき、受診の経過を基に、かかりつけ医への受診を適切に支援している。家族同行の通院のほか、訪問診療も行われており、受診状況は個人ノートや連絡帳で職員をはじめとする関係者で共有し、かかりつけ医への連絡や家族への報告なども適切に行っている。医療連携加算の申請も検討中で医療体制強化に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>午前午後のバイタル測定や臨時の状態観察等を行いながらその利用者様の状態を把握するように努め、必要時早期に対応できるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した場合には、できるだけ早期にサマリーを作成している。入院中も病院に出かけて状態の把握や利用者様の不安軽減に努めるようにしている。また関係先の相談員との連絡を密にし、退院にむけての調整も行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居している利用者の高齢化、重症化に伴い、最近、大きな課題となっている。利用者様やご家族は住み慣れた事業所での終末期を望まれることがあることから今後早急な対応策を検討していきたいところである。また希望によっては母体の特養への入所も行っている</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、入所時に希望を聞き取り、必要時に「急変時（終末期）についての同意書」により方針を説明し同意を得ている。実際に状況が変化した場合には再度詳しく説明して意向を確認し、希望に沿った対応の支援を、家族や関連施設、かかりつけ医と連携して行う体制を築いている。看取りについても利用者、家族の希望に寄り添い対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修などにおいて職員の初期対応訓練は行っている。応急手当などについても必要な物品を揃えたり常備している。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対応について特別養護老人ホームとの年2回の合同災害訓練に参加している。また水害に際してのマニュアルは事業所独自のものも作成した。非常食は利用者様の状況を考慮しこれまでの内容を変更した</p>	<p>消防署の協力を得ながら年3回、火災や自然災害を想定した避難訓練を隣接の特別養護老人ホームと合同で行っている。また、毎月のスタッフ会では避難方法の自主訓練などを行い、地域とは防災応援協定も結び協力が得られる体制を築いて利用者の安全確保に努めている。災害時に備えた設備、食料・飲料水等備蓄も十分である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護には十分注意している。また、個人としての利用者さまの立場を敬えるよう対応に心掛けている	入浴や排泄時をはじめとした日常のケアに際して、全職員がお互いに確認し合いながら本人の誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや対応に努めている。また、個人記録の保管やプライベートな生活環境の確保などにも十分に気配りしながら、利用者個々のペースに合わせたケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表出されるわかりやすい希望や思いといった言語的なことばかりではなく、非言語的な感情や思いをくみとりながらの支援にも気をつけている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日一日を大切にし、利用者様一人ひとりの個性を大切にしていきたいと考えている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみや着衣などに注意しながら支援している。整容なども適宜支援している。希望者は月に1回、訪問理容の利用もされている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや芽摘みなどの協力をしていただいている。食事の際には手伝っていただいたことに対して話題にしながらいただくようにしている。行事ごとのメニューも導入している	季節に合った食材やメニューを共に考え、献立を決定し、調理補助作業にも利用者の機能状態にあった役目が持てるように支援している。母体の特別養護老人ホームからの支援もあり、行事食などの特別食は豊富に提供されている。家族の協力によるそば打ちも恒例になっている。利用者の指導で植えたサツマイモを収穫し、おやつなどに提供されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の嚥下状態やその日の健康状態に応じて食事形態を変更したり食器などを考えたりしている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔ケアを行い、口腔内の状態や食べ残り状態を確認している。また、洗口液や歯磨きティッシュなどで状態に応じてケアの内容を考えている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを観察し、その利用者様に最適な排泄具の選択を行っている。尿意がはっきりしない方も定期的なトイレの誘導でオムツ使用量が減少したり、布パンツへの変更ができた方もいる	個人の習慣や状態に応じた排泄支援になるように、「排尿確認表」などで利用者個々の排泄パターンを把握している。適宜の繰り返しの声かけで排泄の向上のための支援の取り組み効果が見られている。トイレ誘導の言葉かけには十分配慮し、一連の工夫はケアプランにも組み込んで、対応は職員が十分に話し合い、排泄用品の選択等も含めて利用者個々に適したケアとなるように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状況を観察し、オリゴ糖などを使用し薬剤に頼ることなく定期的な排便パターンが保てている利用者様もいる。腹部のマッサージなども試みている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	好きな時間帯に入浴していただくことはできていない現状である。週3回の入浴を楽しみにされている方もあり流れ作業的な入浴にならないよう注意している。また毎週日曜日には足浴を実施している	バイタルチェックなどで確認し、利用者の体調や気持ちにも配慮しながら、週に3回の入浴と日曜日の足浴をできるだけ気持ちよく楽しんで頂けるように支援している。入浴を拒否される場合も、無理強いはせず、スムーズに入浴して頂けるように、声かけや話し方などを工夫して気分転換に努め、個々に適した支援に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、できるだけ離床していただけるよう、散歩やストレッチ、リハビリなどを行い、夜間の安眠につながるよう支援をしている		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の確実な服用に注意しながら、薬剤師と連携し服用しやすい形としている。血圧や心臓の内服など重要な薬剤も多いことから観察をしながら行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとり、興味のあることや趣味などが異なるため、みんなで同じことをすることは強要しないようにしている。また、作品は居室や廊下に貼っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天候をみながら外へ散歩に出たり、庭のベンチでリハビリを行ったりしている。ドライブは利用者様に行き先の希望を伺ったり日用品（個人用）の買い物支援を行い外出する喜びをもっていただいている。また家族との外食をされる方もあり喜びのひとつとなっている</p>	<p>天候や健康状態にも配慮しながら、買い物やドライブ・墓参り・地域のイベント・家族との外食の地域の人々とのふれあい・関連施設との交流など、季節も感じながら楽しく外出して頂けるように様々な支援を行っている。園庭はとても広く、近隣の方が花見に来園するほどで、敷地は広くベンチも置かれ、日常的に日光浴や散歩、時にはお茶会や食事会も楽しんで頂いている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人で管理することが困難な方が多いため、家族に了承を得て管理している。買いたい物がある際には自由にお金は使用できる。出納帳に関しては家族に都度確認していただいている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族からの手紙は各居室に貼って、目の届くところに置くようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室における環境整備には注意し、利用者様が快適に過ごせる温度、湿度を調整し、毎朝、床、廊下その他生活スペースにおいては清掃し、トイレや洗面台は汚染した都度、清掃している。	リビングは日当たりがよく、明るく広々としており、静かにゆったりとくつろげる環境である。温度や湿度にも十分に配慮され、季節感のある花や、手作りの作品なども飾られて居心地良く過ごせるように工夫されている。桜の木が多い園庭は広く、春には地域の方々も来園されて花見を楽しまれている。ベンチも配置されて、玄関を出ると、外出した気分になれる。普段はお茶や散歩・日光浴などが楽しめ自由に気持ちよく過ごせる環境である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様がその時々に応じて自分で過ごされる場所を選択できるようにし、ご自分で移動できない方に関してはスタッフが時間をみながら適宜休憩できるように配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居住スペースにおいては入居時や面会持などに利用者さまの趣味や嗜好にあったものを持ち込み可能としてあり、空き時間にご自分で製作した作品なども置けるように配慮している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレの目印をしたり、利用者様が混乱しないような工夫をしている。また、転倒やつまづいたりしないように整理整頓を心掛け衣類は季節季節で担当者が入れ替えをして整理している		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input checked="" type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月のスタッフ会の冒頭で参加者全員で運営方針・理念の唱和を行っており、共通認識を持つことで意識づけを行い実践できるようにしている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	併設する特別養護老人ホームと合同開催する行事への参加依頼や地域運動会への参加、そして地域密着事業計画に沿って地域の方々との交流が図れるようにしている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域行事への参加や「さくらの里だより」において認知症についての記事掲載、地域住民の方の相談などを通じて理解や支援を得られるようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行っている運営推進会議はご家族の代表者、地域住民の方、市保健課職員などに参加して頂きながら活動の報告や参加者からの提案、意見を伺える貴重な場となっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に毎回出席していただき事業者の実状を伝え、介護保険事業所の会議や研修などにおいて交流の場や市民の方からの困難事例などの相談、報告を行っている</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人や事業所内での研修、外部研修などを通じて身体拘束に対する学びの場を持ちながら利用者様の思いや気持ちに寄り添うことのできるケアの実践をめざし取り組んでいる</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者への虐待に対する研修を通じ、介護職員としての明確なビジョンをもちながら業務に当たることができるように努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に対する研修を通じて理解を深め、必要な助言、制度の説明ができるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居契約時に重要事項説明書に基づいた説明を行い、書類だけではなくわかりやすい文言での説明を心掛けている。不安点や疑問点においてはその都度、正確な回答ができるようにしている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日々の活動の中での利用者様からの意見や要望、面会の際の家族からの意見や要望に際しては可能な限りの対応を心掛けておりまた内容の共有はノートなどを活用するようにしている</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見や提案に対してはきちんと向き合いながら対応できるように心がけている</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフ一人ひとりが当事業所において楽しくまたいきいきと働き続けることができるように職場環境、条件を整えることができるように考えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々のスタッフのそれぞれの能力や力量を把握することで「個」の力が大きな「和」を生み出し利用者様へのより良いケアを提供できるように、研修に参加しやすい雰囲気づくりや自己研鑽に対する意欲向上に取り組んでいきたい</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>垂水市や県の研修などへの参加を通じてのネットワークや情報交換の場を設けるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居される際には原則本人御家族同席で面談をしている。予め顔を知って頂くことで少しでも安心につながるよう努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい雰囲気や場所の提供、また、接遇マナーに注意している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>聞き取りや面接だけでは、今、必要とされていることがみだしにくいこともあるのでまずは相手に信頼してもらえような対応を心がけている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の事を考える上で共にありたいという思いは常日頃から持ちように心がけ、ケアをする側、される側という関係にならないようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様にとって一番の心のよりどころであるご家族との関係性は重要であるためそれぞれの思いや気持ちを大切にしてご家族と一緒に利用者様のことを考えていける関係性を築けるようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の制限をすることなく利用者様のこれまでの生活を大切にしたいと考える。入居されていても利用者様の個人としての尊厳を守っていきたい		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	9人という人数の中でも性格やこれまでの生活パターンの違いもあることから日々の状況を注意深く観察しよりよい関係性を保ちながら共に生活する仲間としての支援方法に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了してしまうとそれまでと同じような関係性の維持はなかなか困難ではあるができるだけこれまでの経験をいかした支援やフォローに努めたいと思っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	認知症がすすんでしまうと意思の伝達自体が困難となってしまうことが多いが、これまでの関係性や経験を通じた方法で利用者様の立場にたつての支援に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様本人やご家族等からの関連情報によりこれまでの生活歴の把握ができるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、共に生活している中で時間をかけて一人ひとりの個別性やできることできないこと、また、どこまでの支援が必要かの見極めができるようにし、情報の共有にも努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議、スタッフ会、モニタリング、日々の会話などにおいて常に今の利用者様に目を向けられるようにし、必要時プランの変更を行っている。またご家族面会時にはケアに対する意見や希望をお伺いしプラン作成に反映させている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各担当者による個別の生活記録はじめ、担当者が居ない日の状態が把握できるようプランに沿って個別ノートを記入する。さらに連絡帳によって各スタッフ間の情報共有を図っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	生活する場において毎日毎日目に見える変化があることは少ないがいつも一緒にいるスタッフだからこその気づきもあることから柔軟な思考での支援を心かけている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	在宅環境に直結した社会資源を活用し生活感を味わっていただけるようにと考え支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医への継続した受診を継続し、基本的に病院受診は家族にお願いしている。前回受診日からの経過や状態については書面や電話で関係医療機関との連携に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	午前午後のバイタル測定や臨時の状態観察等を行いながらその利用者様の状態を把握するように努め、必要時早期に対応できるようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合には、できるだけ早期にサマリーを作成している。入院中も病院に出かけて状態の把握や利用者様の不安軽減に努めるようにしている。また関係先の相談員との連絡を密にし、退院にむけての調整も行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居している利用者の高齢化、重症化に伴い、最近、大きな課題となっている。利用者様やご家族は住み慣れた事業所での終末期を望まれることがあることから今後早急な対応策を検討していきたいところである。また希望によっては母体の特養への入所も行っている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修などにおいて職員の初期対応訓練は行っている。応急手当などについても必要な物品を揃えたり常備している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対応について特別養護老人ホームとの年2回の合同災害訓練に参加している。また水害に際してのマニュアルは事業所独自のものも作成した。非常食は利用者様の状況を考慮しこれまでの内容を変更した</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護には十分注意している。また、個人としての利用者さまの立場を敬えるよう対応に心掛けている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表出されるわかりやすい希望や思いといった言語的なことばかりではなく、非言語的な感情や思いをくみとりながらの支援にも気をつけている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日一日を大切にし、利用者様一人ひとりの個性を大切にしていきたいと考えている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみや着衣などに注意しながら支援している。整容なども適宜支援している。希望者は月に1回、訪問理容の利用もされている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや芽摘みなどの協力をしていただいている。食事の際には手伝っていただいたことに対して話題にしながらいただくようにしている。行事ごとのメニューも導入している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々の嚥下状態やその日の健康状態に応じて食事形態を変更したり食器などを考えたりしている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、必ず口腔ケアを行い、口腔内の状態や食べ残り状態を確認している。また、洗口液や歯磨きテッシュなどで状態に応じてケアの内容を考えている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の排泄パターンを観察し、その利用者様に最適な排泄具の選択を行っている。尿意がはっきりしない方も定期的なトイレの誘導でオムツ使用量が減少したり、布パンツへの変更ができた方もいる</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便の状況を観察し、オリゴ糖などを使用し薬剤に頼ることなく定期的な排便パターンが保てている利用者様もいる。腹部のマッサージなども試みている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	好きな時間帯に入浴していただくことはできていない現状である。週3回の入浴を楽しみにされている方もあり流れ作業的な入浴にならないよう注意している。また毎週日曜日には足浴を実施している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、できるだけ離床していただけるよう、散歩やストレッチ、リハビリなどを行い、夜間の安眠につながるよう支援をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の確実な服用に注意しながら、薬剤師と連携し服用しやすい形としている。血圧や心臓の内服など重要な薬剤も多いことから観察をしながら行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとり、興味のあることや趣味などが異なるため、みんなで同じことをすることは強要しないようにしている。また、作品は居室や廊下に貼っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候をみながら外へ散歩に出たり、庭のベンチでリハビリを行ったりしている。ドライブは利用者さまに行き先の希望を伺ったり日用品（個人用）の買い物支援を行い外出する喜びをもっていただいている。また家族との外食される方もあり喜びのひとつとなっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人で管理することが困難な方が多いため、家族に了承を得て管理している。買いたい物がある際には自由にお金は使用できる。出納帳に関しては家族に都度確認していただいている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族からの手紙は各居室に貼って、目の届くところに置くようにしている。年末には年賀状に取り組みご家族より喜びの返信を頂いている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室における環境整備には注意し、利用者様が快適に過ごせる温度、湿度を調整し、毎朝、床、廊下その他生活スペースにおいては清掃し、トイレや洗面台は汚染した都度、清掃している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様がその時々に応じて自分で過ごされる場所を選択できるようにし、時には居室でタンスの衣類の整理や確認をされる時もある。リビングでは気の合う方とテレビ鑑賞されながら会話を楽しまれている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居住スペースにおいては入居時や面会持などに利用者さまの趣味や嗜好にあったものを持ち込み可能としてあり、空き時間にご自分で製作した作品なども置けるように配慮している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレの目印をしたり、利用者様が混乱しないような工夫をしている。また、転倒やつまづいたりしないように整理整頓を心掛け衣類は季節季節で担当者が入れ替えをして整理している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input checked="" type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない